

● ネコエイズになるとどうなるの？

ネコエイズに感染すると、発熱や下痢などの症状が現れますが、症状を示さない場合も少なくありません。

その後

ゆっくりと病気が進行し、免疫機能が低下していきます。このため、慢性で治りにくい口内炎や歯肉炎などがみられるようになり、この状態が数カ月～数年程度続きます。



▲慢性化した口内炎

さらに進行すると

激しい体重減少や貧血、悪性腫瘍などがみられるようになります。こうなると、多くの場合で数カ月以内に死にいたりします。



▲感染末期で大幅に体重が減少した猫

ワクチン接種時の注意点

ワクチン接種の前後には注意が必要です。

ワクチン接種前

下記の症状などがみられる場合には、ワクチン接種は避けましょう。

- 発熱しているなど健康な状態ではない。
- 病気の治療中もしくは治療後間がない。
- 妊娠している。
- 極度に興奮している。

ワクチン接種後

- 激しい運動は避けましょう。
- 2～3日間は安静に努め、移動などは避けましょう。
- 十分な免疫ができるまで(3回目のワクチン接種から約2～3週間)他の猫との接触は避けましょう。

ワクチン接種後の副作用

- ワクチン接種後、発熱したり、注射部位を痛がる場合があります。
- 猫の体質によっては、アナフィラキシーショック(激しいアレルギー反応)を起こしたり、顔が腫れたり、じんま疹がでることがあります。

※このような症状がみられた場合には、すぐに当院までご連絡ください。

ネコエイズ、 予防していますか？

定期的なワクチン接種をおすすめします。



ゾエティス・ジャパン株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7

CA-1307-100-HM-C27-01
C00878

zoetis

● ネコエイズって何？

ネコエイズとは、猫後天性免疫不全症候群の通称で、ネコ免疫不全ウイルス(FIV：通称ネコエイズウイルス)に感染することで引き起こされる様々な症状を伴う病気です。進行により、免疫が低下し、徐々に病気に対する抵抗力が失われ、やがて死にいたる恐ろしい病気です。一度感染すると完治することはありません。

● どうやって感染するの？

FIVは、感染した猫の唾液や血液の中に含まれています。このため、猫同士が喧嘩した時などに行われる咬み傷から、ウイルスが体内に侵入して感染するケースがほとんどです。

感染猫とのグルーミングや食器を介しての感染はまずありません。また、母子感染も極めて稀です。さらに、猫から人には感染しません。



● どんな猫が感染しやすいの？

猫同士の喧嘩が感染に大きく関わることから、以下のような猫は、特に感染に注意しましょう。愛猫にあてはまるものをチェックしてみてください。



☑ Check List

飼育環境に関わること

- 屋外で飼っている
- 室内飼いだいが、外にも行く
- 近所に野良猫が多い
- 多頭飼育の中に感染猫がいる

猫に関わること

- 気性が荒くよく喧嘩をする
- 脱走癖がある
- 雄猫(去勢をしていない)

上記の項目にあてはまる場合には、感染の予防を考えましょう。

**ワクチンでネコエイズを
予防できます。**



**愛猫に、
定期的なネコエイズ
ワクチン接種を
おすすめします。**

その他のネコエイズ予防法について

- ① 外出させないなどして、他の猫との接触をなるべく避ける。
- ② 多頭飼育の場合は、それぞれの猫の感染有無を病院で確認し、感染猫はケージで飼うなどする。